

# 松下幸之助経営塾

[第五期] 2013年2月開講

特別講師

※肩書きは、掲載当時のものです



**佐久間 昇二** (さくま・しょうじ) 日本テレネット株式会社 取締役相談役

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2002年より、同社代表取締役会長(兼)社長を務め、03年6月より、会長専任。06年6月より、相談役。11年7月より、名誉顧問。同7月より、日本テレネット株式会社取締役相談役。



**伊藤謙介** (いとう・けんすけ) 京セラ株式会社 相談役

1937年、岡山県生まれ。59年、京都セラミック株式会社(現・京セラ株式会社)に入社。89年、代表取締役社長、99年、代表取締役会長、05年、取締役相談役に就任。09年より現職。

現名誉会長稲盛和夫のもとで、京都セラミックの創業にかかわる。「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」を経営の理念に掲げ、「人間として正しいことを貫く」という「京セラフィロソフィ」を判断の基準として経営にあたる。現在も、全国の拠点を訪問し、経営理念の重要性について社員に直接語りかけ、後身の育成に注力している。

公職として、06年まで京都工業会副会長、07年まで京都商工会議所副会頭、歴任。

著書『心に吹く風』(文源庫)、『リーダーの魂』(文源庫)、『挫けない力』(PHP研究所)。



**小嶋 淳司** (こじま・あつし) がんこフードサービス株式会社 代表取締役会長

1935年、和歌山県生まれ。同志社大学経済学部卒業後、大阪榮寿司店にて1年間見習修行。63年、大阪十三にて4坪半の寿司店を創業。2年後に120席の大型寿司店を開店(現在の十三寿司店)。69年、法人設立。2005年より、現職。がんこフードサービス株式会社は現在、関西圏、関東圏を中心に、寿司、和食、炉ばた料理、とんかつ、回転寿司、自家製がんこ豆腐直売店等の直営店95店舗を展開中。また江戸時代より続く庄屋と庭園を生かした平野の『平野郷屋敷』や、京都高瀬川を開削した京の豪商「角倉了以」の別邸跡で高瀬川源流の『高瀬川二条苑』など、貴重な文化的遺産を生かした和食店を展開し話題となる。(社)関西経済同友会代表幹事、(社)関西経済連合会理事、(社)日本フードサービス協会会長、大阪商工会議所副会頭(在任中)などを務め、関西経済界の重鎮として知られる。著書に『儲かってまっか! がんこ流人育て心得帖』(1995年・日経BP社)。



## 堀場 厚 (ほりば・あつし) 株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼社長

1948年、京都生まれ。71年、甲南大学理学部応用物理学科を卒業。75年、米国カリフォルニア大学工学部電気工学科卒業。77年、米国カリフォルニア大学大学院工学部電子工学科を修了し、オルソン・ホリバ社(米国)に入社。72年9月、株式会社堀場製作所入社。77年、同社海外技術部長。82年には同社取締役海外本部長に就任、その後、取締役営業本部長、取締役生産本部長を歴任。1992年より同社代表取締役社長を務め、学生ベンチャーの草分けと称された父が創業した同社を引き継ぎ、買収戦略などでグローバル企業に成長させた。05年より現職。「おもしろおかしく」を社是に掲げ、世界シェア8割の自動車排ガス計測装置など多分野でナンバーワンを誇る。その他、社団法人日本電気計測機器工業会 会長、社団法人 日本分析機器工業会 副会長、京都経済同友会 特別幹事、京都パープルサンガ後援会 会長などを務める。著書に、『京都の企業はなぜ独創的で業績がいいのか』(2011年、講談社)。



## 酒巻 久 (さかまき・ひさし) キヤノン電子株式会社 代表取締役社長

1967年1月、キヤノン株式会社に入社。87年、同社システム事業部長。89年、同社取締役システム事業本部長兼ソフトウェア事業推進本部長。91年、同社取締役総合企画担当兼ソフト事業推進本部長。92年、同社取締役生産担当兼環境保証担当兼生産本部長。96年、同社常務取締役生産本部長、当社監査役。99年、当社代表取締役社長(現在)。

著書に、『リーダーにとって大切なことは、すべて課長時代に学べる——はじめて部下を持った君に贈る62の言葉』(朝日新聞出版)、『ドラッカーの教えどおり、経営してきました』(朝日新聞出版)、『朝イチでメールは読むな! ——仕事ができる人になる41の習慣』(朝日新書)、『「会社のアカスリ」で利益10倍! ——本当は儲かる環境経営』(朝日新書)、『キヤノンの仕事術』、『椅子とパソコンをなくせば会社は伸びる!』(以上、祥伝社)、『キヤノン方式のセル生産で意識が変わる会社が変わる』(日本能率協会マネジメントセンター)、『最新 情報漏洩防止マニュアル』、『企業情報漏洩防止マニュアルー伸びる企業のリスクマネジメント』(アスキー)。



## 岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルピン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ三十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。

著書に、『そう考えると楽ですね～松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。